

# 県立 二本松実業高等学校

令和5年より県立二本松工業高等学校と県立安達東高等学校と統合  
 校章 〒964-0837 二本松市榎戸一丁目58番地2  
 ☎0243-23-0960  
 fax 0243-23-7388  
<https://nihonmatsu-hr.tcs.ed.jp>  
 E-mail nihonmatsu-hr@fcs.ed.jp



校長/佐藤正道  
 教職員数Ⅱ六二 生徒数Ⅱ二八七(男子235、女子52)  
 機械システム科 一年 二五 二年 三三 三年 二八  
 情報システム科 一年 二九 二年 三三 三年 三三  
 都市システム科 一年 二九 二年 一九 三年 二四  
 生活文化科 一年 三五

校章由来 二本松から連想した松ぼっくりを图案化したもので、中心の先端が丸い差する羽根は、4つの学科が協働する姿を表現している。羽根の丸みは家庭科の温かい思いやりを、また背景の四角形は工業科の誠実なもののづくりを表す。羽根の下に重なる十字の図案は安達東の校章、左右の松の葉は二本松工業の校章を継承した。  
 両校の歴史や伝統を受け継ぎながら、手を携えた4学科の生徒が未来に向けて羽ばたく様子を示している。



## 校歌

一、空の青さとと陽の光  
 榎戸の丘 一瞬の風  
 力張り 舞う砂けむり  
 現在を生きる これからの人  
 創ろう未来 つなごう心  
 いつの日か 遙かな夢を ほんとの空に

作詞/校歌制作委員会  
 作曲/大友良英

## 沿革

昭和37年 県立二本松工業高等学校として開校  
 令和5年 県立安達東高等学校と統合し、県立二本松実業高等学校として開校 機械システム科 情報システム科、都市システム科、生活文化科を設置、1学年4クラス編成となる。  
 校章、校歌、制服を制定

## 学校概要

安達太良山の麓、高村光太郎の妻智恵子誕生の地、二本松に立地。令和5年度より工業科(機械システム科、情報システム科、都市システム科)及び県内唯一の家庭科(生活文化科)を併置する。

(1) 機械システム科Ⅱ工業生産のシステム構築、機械材料の加工や工作、器具や機械の設計、原動機によるエネルギーの有効活用等、機械技術の発展を担う技術者として必要な資質・能力を育成する。数値制御型工作機械(マシニングセンタ)の原理やコンピュータ設計製図/製造(CAD/CAM)等の先端技術に対応できる能力を養う。「技能士」「危険物取扱者」等の資格取得を目指す。

(2) 情報システム科Ⅱ電気現象の量的取扱いや電子回路の設計・製作など、電気・電子技術の発展を担う技術者として必要な資質・能力を育成する。(2)年次より2コース制をとる。エレクトロニックコース…電気機器や電力供給技術を活用した工業生産等を学ぶ。コンピュータコース…情報通信、プログラミング、ハードウェアの開発、ソフトウェアの活用等を学ぶ。「第一、二種電気工事士」「工事担任者(第一、二級デジタル通信)」「基本情報技術者」「ITパスポート」等の資格取得を目指す。

(3) 都市システム科Ⅱ人々が生活するために必要とされる社会基盤(インフラ)を支える土木技術として、測量、水理・土木力学、土質力学、土木施工などの基礎を習得し、土木技術の発展を担う技術者として必要な資質・能力を育成する。「2級土木施工管理技術検定」「1、2級測量技術検定」等の資格取得を目指す。  
 生活文化科Ⅱ衣食住生活や保育、福祉に関する内容を学習する。地域や社会の生活の質の向上と発展に資する担い手として必要な資質・能力を育成する。

## 施設

校地面積 五八、八八五㎡  
 建物面積 一三、一二九㎡

工業科(第一、第二、第三実習棟)  
 家庭科(第一、第二家庭実習棟)

行事 6月校内陸上競技大会、10月遠足・校内球技大会・修学旅行、11月文化祭・芸術鑑賞教室、1月公開課題研究発表会他(企業見学、現場見学、企業説明会、インターシップ、企業技術者による技術指導等)

校風「創造」「協調」「責任」の校訓の下、生徒た

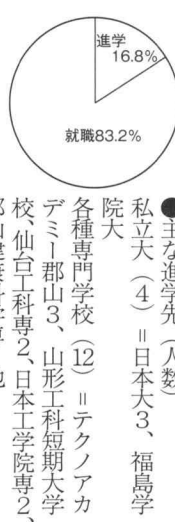
ちは本校が目指す理念をよく理解し、真摯に学校生活を送っています。

・専門的な知識・技術と教養を身に付け、地域の産業・生活・文化の発展に寄与できる実践力と問題解決力を備えた生徒  
 ・心身ともにたくましく、豊かな人間性と倫理観を備えた生徒  
 ・困難な課題に屈することなく、多様な他者と協働し、果敢に挑戦していく生徒

## 部活動の状況

●運動部Ⅱ野球、カヌー、バドミントン、サッカー、卓球、バスケットボール、剣道、柔道、弓道、陸上競技、ソフトテニス  
 ●文化部Ⅱ美術、吹奏楽、文芸、ものづくり、コンピュータ、演劇  
 ●活動状況 全国高校総体カヌー競技出場(令5)、国体カヌー競技出場(令5)

## 進学・就職状況(令和五年三月卒業)



●主な就職先(県内63名、県外16名)  
 石橋建設工業、小野工業所、ヤクルト本社福島工場、京セラ福島郡山工場、二本松NOK、AGCエレクトロニクス、日東紡績福島工場、前澤給装工業福島工場、アマダオートメーションシステムズ、小松製作所生産本部郡山工場、アズビル金門エナジープロダクツ、福島サンケン、福島芝浦電子、北芝電機、東北村田製作所郡山事業所、日本デジタル研究所、コマツ物流、二本松信用金庫、仙建工業、山崎製パン、トヨタ自動車、東日本、日産自動車、東北電力、東北電力ネットワーク、NTT東日本、東北、日本貨物鉄道東北支社、東北電気保安協会、警視庁警察行政職 他  
 ●全生徒の主な出身中学校(5年度)(内新入生数)  
 一、二本松一中学校56名(20) 二、二本松三中学校28名(12)  
 二、大玉中学校28名(10) 四、安達中学校27名(9)  
 五、二本松二中学校24名(9) 六、本宮一中学校22名(9)  
 七、東和中学校19名(13) 八、本宮二中学校18名(10)  
 九、白沢中学校14名(12) 十、松陵中学校12名(2)  
 ●エポック 学科横断による協働的・探究的な学びを推進するとともに、地域・産業界・大学等との連携による地域の資源や特色を活用した実践的な学びが充実しています。各学科の特色に応じた実社会で認められた国家資格・検定の取得を目指しています。

就職・資格・デビューへ一直線  
 6カレッジ99の専門分野  
**日本工学院**  
 蒲田キャンパス 八王子キャンパス  
 ☎0120-123-351 ☎0120-444-700  
 クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ  
 ITカレッジ テクノロジーカレッジ スポーツ・医療カレッジ

専門学校(2年制) 応用課程(2年制)  
 生産機械技術科/電気エネルギー制御科 生産機械システム技術科/生産電気システム技術科  
 電子情報技術科/住環境情報科 生産電子情報システム技術科/建築施工システム技術科  
 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 宮城支部  
**東北職業能力開発大学校**  
 〒987-2223 宮城県東宮原町高野新土橋26 TEL.0228-22-6614 [https://www3.jedp.ac.jp/miyagi\\_college/](https://www3.jedp.ac.jp/miyagi_college/)

ビル総合管理・総合エンジニアリング  
**株式会社 東北セイワ**  
 〒963-0205 福島県郡山市堤3丁目186番地  
 ☎024-952-8355 FAX024-952-8377  
 E-mail t-seiwa@topaz.plala.or.jp  
 URL <http://tohoku-seiwa.co.jp>